

一般会計予算決算常任委員会審査日程

日時 令和元年12月18日(水)

午前10時

場所 議場

議案第85号 令和元年度山陽小野田市一般会計補正予算(第4回)について

議案第105号 令和元年度山陽小野田市一般会計補正予算(第5回)について

審査 番号	項 目
①	補正予算第4回の各分科会長報告・質疑
②	補正予算第4回の討論・採決
③	補正予算第5回の執行部説明・質疑・討論・採決

■ 分科会長報告概要 ■

	令和元年 12 月定例会
	一般会計総務文教分科会
議 案 件 名	議案第 85 号 令和元年度山陽小野田市一般会計補正予算 (第 4 回) について
担 任 事 項	総務文教分科会担任事項
概 要	今回の補正の主なものとは人件費の調整と高千帆小学校新校舎建設事業、埴生地区複合施設整備事業等取り急ぎ措置すべき案件についての補正
論点又は質疑 によって明らか になった事項 など	<p>【歳入】</p> <p>○地方特例交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども・子育て支援臨時交付金 5,903 万 2,000 円の減額 <p>○繰入金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政調整基金繰入金 5 億 5,516 万 4,000 円の減額 <p>○繰越金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度繰越金 11 億 811 万 1,000 円の増額 <p>○市債</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校債 730 万円の増額 <p>(主な質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「子育て支援臨時交付金は国庫支出金、県支出金に振り替えるとのことだが、振り込まれる相手が変わるのか」との質問に「国庫支出金、県支出金の枠組みで交付することになったので補正で付け替えた」との答弁 <p>【歳出】</p> <p>○人件費全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般会計全体 5,254 万 2,000 円の減額 ・ 給料 5,107 万 5,000 円の減額 <p style="padding-left: 2em;">減額理由：育児休業等に係る給料の減額等</p>

- ・職員手当等 3,626 万 5,000 円の増額

増額理由：早期退職者分の退職手当の増と時間外勤務手当の増

- ・共済費 1,406 万 6,000 円の減額

減額理由：育児休業等による事業主負担額の減額等

- ・賃金 2,367 万 1,000 円の減額

減額理由：臨時職員の勤務実績から

- ・職員福祉費 5,000 円の増額

増額理由：職員採用に伴う調整

○総務費

- ・人事管理費 337 万 6,000 円の減額

旅費 75 万 5,000 円の増額は、派遣している職員の旅費を増額するもの

システム改修委託料 413 万 1,000 円の減額は、賞与に関する部分について新年度に対応させることとなったため

- ・文書管理費 6 万 7,000 円の増額

厚狭地区複合施設の印刷機が故障したため、新たにリースするもの

- ・財産管理費

財政調整基金積立金 6 億 1,466 万 1,000 円の増額

退職手当基金積立金 7,000 万円の増額

- ・防災費 137 万 1,000 円の増額

川上会館に設置している防災無線屋外放送設備が山口県の「松ヶ瀬川における砂防工事」の工事用道路のルート上にあるため移設をするもの

(主な質疑)

- ・「教育委員会の職員手当が多いが、その内訳は」との質問に「教育委員会から早期退職者が 2 名あるため」との答弁

○教育費

・学校管理費

需用費 2万6,000円の増額

高千帆小学校の来年度不足する教室の対応のため、
図工室を普通教室に転用するにあたっての、水筒入れ
等の消耗品

備品購入費 194万3,000円の増額

児童用、教師用の机・椅子やランドセル入れや戸棚等
の購入

・学校建設費

委託料 1,443万円の増額

高千帆小学校で児童数が増加し、現在の校舎では教
室数に対応できないことが予測され、また、現在の児童
クラブの部屋数の不足に対応するため、児童クラブと
の合築による新校舎の設計委託料の1年目の費用

・教育振興費及び幼稚園費

備品購入費 15万円の増額

小学校図書購入費 6万円の増額

中学校図書購入費 7万円の増額

幼稚園図書購入費 2万円の増額

一般社団法人全日本オートレース選手会山陽支部及
び市民からの寄附金

・図書館費

備品購入費 20万円の増額

西中国信用金庫及び立正佼成会からの寄附金により
図書館の図書購入

・埴生地区複合施設整備事業費

役務費 220万9,000円の減額

委託料 902万2,000円の減額

備品購入費 1,311万円の減額

埴生地区複合施設の供用開始が令和2年3月から10
月になったため、今年度の必要経費を減額する

(主な質疑)

- ・「高千帆小学校の新校舎建設は、令和4年の2月に終了する予定だが、それまでに不足する教室の対応は」との質問に「教室を工夫して転用するという事で対応したい」との答弁
- ・「児童数の推移は令和7年までしかないが、これ以降の推移は予測しているのか」との質問に「令和7年度までの推移は、出生数を調べて推計しているが、それ以降は出生数が分からないので推計していない」との答弁
- ・「増築についての議論は、いつぐらいから出たのか」との質問に「今年の2月の総合教育会議と9月の総合教育会議で議論している」との答弁
- ・「高千帆小学校は児童が増えているが、高泊、有帆は減っている。校区の見直しは、教育委員会会議で出たのか」との質問に「高千帆校区という名称に、非常に価値を感じている方が多く、校区域の境界を変更するのは非常に難しい」との答弁
- ・「津布田会館の空調は現在マルチタイプだが、そのままマルチタイプを採用するのか」との質問に「各部屋に一つずつの個別の室外機を設置する方式で更新する」との答弁

【債務負担行為補正】

- ・現代ガラス展実行委員会負担金 510 万円
第8回現代ガラス展 in 山陽小野田の現代ガラス展実行委員会負担金
- ・津布田会館空調設備更新事業 791 万 6000 円
- ・高千帆小学校校舎整備事業 3,367 万円
新校舎整備事業設計委託料の2年目の経費
- ・小学校空調設備整備事業 2,112 万円
埴生小学校の空調を移設する事業の2年目の工事費

(主な質疑)

- ・「埴生小学校・中学校の空調設備移設台数の内訳は」との質問に「新たに4台購入して、合計は15台になる」との答弁

■分科会長報告概要■

	令和元年 12 月定例会
	一般会計民生福祉分科会
議 案 件 名	議案第 85 号 令和元年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 4 回）について
担 任 事 項	民生福祉分科会担任事項
概 要	今回の補正は、人事異動に伴う人件費の調整、介護保険への繰出金の増額、保育所運営費の減額や母子保健情報連携システム改修事業費の増額などによるもの
論点又は質疑によって明らかになった事項など	<p>【歳入】</p> <p>○ 諸収入</p> <p>4 項 2 目雑入 3 節民生費雑入のうち公立保育所運営費市外措置分 200 万円の減額は、本市の公立保育所に入所する市外在住児童分の運営費歳入について決算を見込んで補正するもの。対象児童数は、現在 8 名である。</p> <p>【歳出】</p> <p>○ 総務費</p> <p>3 項 1 目 18 節備品購入費 182 万 5,000 円の増額は、マイナンバーカードの申請支援に必要な専用タブレット端末等の費用。</p> <p>(主な質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国の交付円滑化計画にある市町村の努力目標はどれくらいか」との質問に「令和 2 年 7 月に 23.5%、令和 3 年度に 70.6% である」との答弁 ・「現在 11%程度から来年 7 月 23.5%にするための具体的なものはあるのか」との質問に「今回の補正に上げている機器を整備し、申請支援の機会を拡大するために外へ出ていく計画である」との答弁

・「タブレットはどこに配置されるのか」との質問に「市民課と市民窓口課（総合事務所）で保有する」との答弁

○ 民生費

2 項児童福祉費 4 目 13 節監理委託料 360 万円、15 節工事請負費 1,710 万円の増額は、山陽地区保育所整備事業に関するもの。監理業務委託は令和 2 年 3 月から令和 3 年 12 月、地盤補強工事は令和 2 年 3 月から同年 6 月までの予定。

6 目児童クラブ費 167 万 2,000 円の減額は、現在整備中の埴生複合施設の供用開始が遅れることになったため、今年度予算措置していた備品購入費等を減額するもの。

○ 衛生費

1 項保健衛生費 1 目 13 節委託料 374 万円の増額は、母子保健情報の情報連携システムを改修するためのもの。マイナポータルを活用し、妊婦健診及び乳幼児健診に関する情報を市町村間で連携できる仕組みを構築する。

1 目 23 節のうち霊園使用料返還金 126 万 6,000 円の増額は、当初 6 件分を見込んでいたが既に 11 件となり、今後も 2 件程度の返還を想定しているため。

(主な質疑)

・「市町村間で情報連携することで母子にとってどのようなメリットがあるのか」との質問に「申請などの手続の簡素化につながる、母子健康手帳を紛失した方が履歴情報を確認できるなどのメリットが考えられる」との答弁

・「今後も墓地の返還が増えてくると思われる。空き地が増えて近隣の使用者が困っているが、どうするのか」との質問に「余りにひどいようであれば担当課で草刈り等をせざるを得ない場面もある」との答弁

○ 債務負担行為

山陽地区保育所整備に伴う監理業務委託、地盤補強工事、建築主体工事、機械設備工事及び電気設備工事にかかる令和2年度以降の債務負担行為 11億2,755万4,000円を設定するもの。

(主な質疑)

・「8月下旬に建設場所付近で浸水があったが、不安なことはないのか」との質問に「近隣の道路等は冠水が見られたが建設予定地については浸水がないことを確認している。これまでも当初の平屋建てから二階建てにするなど関係者の意見を取り入れて設計を進めてきた。そのようなハード面に加えて、早め早めの避難活動や閉園とするなど、ソフト面での対応も考えた運営をしていく必要がある」との答弁

・「地域住民の方への情報提供などの取組状況は」との質問に「実施設計と基本設計とで大きく説明内容が変わるものはないと思い、説明を行っていない。開園が近くなる段階では何らかの説明をする必要があると思う」との答弁

・「どのように地盤を補強していくのか」との質問に「古洞にグラウト注入した上で、くいを古洞の下の支持基盤まで通して地盤補強をする。実際には25か所に対してグラウト注入を行う予定である」との答弁

・「地域の方々に工事の進捗状況などを知らせていくことが大事ではないのか」との質問に「近隣アパートの居住者には事前に情報を流し、家屋調査も行っている。地質調査の際には班回覧を用いた。ホームページ等でのアナウンスについては検討していきたい」との答弁

■分科会長報告概要■

		令和元年 12 月定例会
		一般会計産業建設分科会
議 案 件 名	議案第 85 号 令和元年度山陽小野田市一般会計補正予算 (第 4 回) について	
担 任 事 項	産業建設分科会担任事項	
概 要	今回の補正は人件費の調整、及び実施条件が整った事業等の取り急ぎ措置すべき案件についての補正である。	
論点又は質疑 によって明らか になった事項 など	<p>【 人件費について 】</p> <p>(主な質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「6 款 1 項 2 目農業総務費と 5 目土地改良事業費の時間外手当が大きい原因は」との質問に「職員の長期休職や業務量の増加等によるもので、決算を見込んで措置した」との答弁。 ・ 「土木費の職員 1 名減は異動によるものか」との質問に「年度途中で課長級が退職したものの。それに伴い職員の異動も行った」との答弁。 <p>【 6 款 農林水産業費 】</p> <p>6 款 1 項 2 目農業総務費 28 節繰出金 14 万円の減額は、平成 30 年度決算認定に伴う地方卸売市場事業特別会計繰出金の補正。3 目農業振興費 19 節の新規就業者等産地拡大促進事業補助金は、新規就農者を受け入れる法人等への支援及び生産力強化のために導入する機械の経費及び施設の整備に係る経費の 3 分の 1 を補助するもので、全額県費で賄うもの。5 目土地改良事業費 19 節の農業水路等長寿命化・防災減災事業補助金 4,420 万円の皆減は、土地改良区の複式簿記導入に伴う様々な事業を行うための補助金で、100%国庫補助金である。当初、市を経由する予定であったが、県から直接、各土地改良区に交付することになったことによるもの。</p>	

(主な質疑)

- ・ 「新規就業者等産地拡大促進事業補助金の交付先は」との質問に「新規就農者を多く雇用している有限会社グリーンハウスで、ほうれん草を包装する機械を購入したいとの申し出があり、これの3分の1を補助するもの」との答弁。
- ・ 「以前から指摘している市が独自での上乗せ補助をすることの検討はされたか」との質問に「今年度から市外からの新規就業者に対し、家賃補助制度を始めた。今後も財政サイドと協議しながら進めたい」との答弁。

【 7 款 商工費 】

7 款 1 項 1 目商工総務費 19 節の交通施設バリアフリー化整備事業補助金 4,000 万円の減額は、JR 厚狭駅のバリアフリー施設整備工事が国庫補助の対象になっていたが、整備工事の実施主体である JR 西日本に国から不採択となった旨の連絡があり、今年度の事業着手を見送ることになったことから事業費の3分の1である JR 西日本への補助金を減額するもの。2 目商工振興費 15 節の工事請負費 1,254 万円の増額は、小野田・楠企業団地において、これまでの企業への上水道の供給方式では水圧が不足しているため、今年度の予算は進出が決まっていた 3 社への増圧装置の設置を予定していたが、1 社においてより大きな増圧装置を設置する必要が生じたこと、さらに B 区画進出の 1 社の操業が早まり、年度内開始となったことから使用する上水の量に合った増圧装置設置のため不足分を補正するもの。19 節の用地取得奨励金 5,360 万 8,000 円の増額は、本市に一定規模の工場を建設する場合、工場設置奨励条例による優遇措置のうち土地取得価格の 40%を交付するが、宇内金属工業株式会社が予定より早く早操業開始となり、用地取得奨励金の要件から今年度中に交付する必要が生じたため、12 月の補正予算で計上した。

(主な質疑)

- ・ 「バリアフリーの 4,000 万円の減額について、国が不採択した理由は」との質問に「復興のほうに予算がいったとの報告で、厚狭駅の不採択理由の説明はない」との答弁。
- ・ 「バリアフリーについて今後の見通しは」との質問に「JR西日本は来年度事業実施する予定で準備を進めたいとのことから、本市も JR 西日本と連携しながら予算要求の手続きをしていきたい」との答弁。
- ・ 「団地に設置した水道施設は一定の水量の使用がない限り水道法で定められた安全な水を供給できないとはどういうことか」との質問に「1 日最大供給量 980 立方メートルの計画で受水槽及び配水池を建設しており 200 立方メートル以上の使用がないと塩素の消毒の関係で安全な水を供給できないと聞いている」との答弁。
- ・ 「優遇制度の雇用奨励金はどのような状況か」との質問に「まだ操業開始から 3 か月たっていないので確認していない」との答弁。

【 8 款 土木費 】

8 款 2 項 3 目道路橋りょう維持費 11 節需用費の修繕料 460 万円の増額は、例年に比べ道路の舗装補修が多いため、上半期の舗装補修費用を参考に下半期分として計上した。5 項 1 目都市計画総務費 19 節、24 節の公共下水道事業に係る補助金等の補正額合計 753 万 5,000 円の増額は人事異動に伴う人件費の調整によるもの。

(主な質疑)

- ・ 「道路の修繕件数は」との質問に「11 月末現在で、小野田地区 97 件、山陽地区 33 件、合計 130 件である」との答弁。
- ・ 「歩道橋の安全確認はできているか」との質問に「平成 29 年に業者を入れて歩道橋の長寿命化のための検査をした。その判定から十分に安全性が担保できていると考

えている」との答弁。

【 11 款 災害復旧費 】

11 款 3 項 1 目道路橋りょう河川災害復旧費 15 節の工事請負費 610 万円の増額は、8 月豪雨により宗末川の護岸が崩壊したため、災害復旧事業費を増額補正するもの。また、3 節職員手当等 36 万 4,000 円も災害復旧事業に伴うものである。4 項 1 目 15 節工事請負費 753 万円は 8 月の豪雨により被災した農地の法面崩壊 1 か所、水路 2 か所の復旧に対応するもので、国庫補助率は農地 50%、水路は 65%、地方債は充当率 90%である。

(主な質疑)

- ・「オートキャンプ場の電気設備改修工事の具体的内容は」との質問に「オートキャンプ場に電気を供給しているキュービクルの更新工事である」との答弁。

【債務負担行為補正】

○ 西の浜排水機場修繕事業

西の浜排水機場は老朽化が著しく、現在 3 基ある排水ポンプのうち 3 号機が排水できない状態であり、今年度と来年度の 2 か年にわたって修繕するもの。今年度は修繕に必要な部品の調達等を行い、来年度に修繕を実施する。事業費は全体で 712 万 8,000 円、契約は今年度締結し、事業費は全額来年度予算で計上する予定である。

■分科会長報告概要■

		令和元年 12 月 定例会
		一般会計理科大分科会
議 案 件 名	議案第 85 号 令和元年度山陽小野田市一般会計補正予算 (第 4 回) について	
担 任 事 項	理科大分科会担任事項	
概 要	今回の補正は、職員手当等及び積立金の増額によるもので、 補正後の額は 20 億 6,423 万 4,000 円となる	
論点又は質疑 によって明らか になった事項 など	<p>【歳出】</p> <p>○大学費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間外勤務手当を 25 万円増額 外構工事に係るもの ・ 積立金を 200 万円増額 頂いた指定寄附金分 200 万円を公立大学法人運営基金 に積み立てるもの。基金残高は 7 億 2,495 万 1,766 円と なる。なお、寄附金の内訳は、メスキュード医療安全基 金から 100 万円、株式会社ライジングホールディングス から 100 万円である。 	

議案第105号参考資料 一般会計補正予算（人件費関係）説明資料

（単位：千円）

1 議会費	補正			補正内訳
	人勧前の補正額	人勧後の補正額	補正額	人勧影響額
2 給料	26,881	26,931	50	50
3 職員手当等	16,776	16,920	144	144
4 共済費	9,003	9,030	27	27
7 臨時雇賃金	0	0	0	0
19 職員福祉費	42	42	0	0
計	52,702	52,923	221	221

2 総務費	補正			補正内訳
	補正前の額	補正後の額	補正額	人勧影響額
2 給料	624,321	625,227	906	906
3 職員手当等	644,109	647,513	3,404	3,404
4 共済費	232,003	232,627	624	624
7 臨時雇賃金	118,215	118,215	0	0
19 職員福祉費	992	992	0	0
計	1,619,640	1,624,574	4,934	4,934

3 民生費	補正			補正内訳
	補正前の額	補正後の額	補正額	人勧影響額
2 給料	316,011	317,256	1,245	1,245
3 職員手当等	174,343	176,241	1,898	1,898
4 共済費	109,744	110,089	345	345
7 臨時雇賃金	62,145	62,145	0	0
19 職員福祉費	660	660	0	0
計	662,903	666,391	3,488	3,488

4 衛生費	補正			補正内訳
	補正前の額	補正後の額	補正額	人勧影響額
2 給料	237,067	237,228	161	161
3 職員手当等	126,698	127,811	1,113	1,113
4 共済費	76,220	76,436	216	216
7 臨時雇賃金	0	0	0	0
19 職員福祉費	382	382	0	0
計	440,367	441,857	1,490	1,490

5 労働費	補正			補正内訳
	補正前の額	補正後の額	補正額	人勧影響額
2 給料	8,247	8,247	0	0
3 職員手当等	4,118	4,156	38	38
4 共済費	2,573	2,580	7	7
7 臨時雇賃金	0	0	0	0
19 職員福祉費	12	12	0	0
計	14,950	14,995	45	45

6 農林水産業費	補正			補正内訳
	補正前の額	補正後の額	補正額	人勧影響額
2 給料	56,898	56,969	71	71
3 職員手当等	33,983	34,294	311	311
4 共済費	19,374	19,431	57	57
7 臨時雇賃金	3,597	3,597	0	0
19 職員福祉費	94	94	0	0
計	113,946	114,385	439	439

7 商工費	補正			補正内訳
	補正前の額	補正後の額	補正額	人勧影響額
2 給料	17,477	17,518	41	41
3 職員手当等	11,163	11,327	164	164
4 共済費	5,922	5,944	22	22
7 臨時雇賃金	0	0	0	0
19 職員福祉費	30	30	0	0
計	34,592	34,819	227	227

8 土木費	補正			補正内訳
	補正前の額	補正後の額	補正額	人勧影響額
2 給料	138,325	138,591	266	266
3 職員手当等	79,213	80,240	1,027	1,027
4 共済費	45,227	45,359	132	132
7 臨時雇賃金	0	0	0	0
19 職員福祉費	228	228	0	0
計	262,993	264,418	1,425	1,425

10 教育費	補正			補正内訳
	補正前の額	補正後の額	補正額	人勧影響額
2 給料	348,992	349,646	654	654
3 職員手当等	242,473	244,324	1,851	1,851
4 共済費	118,847	119,174	327	327
7 臨時雇賃金	99,199	99,199	0	0
19 職員福祉費	625	625	0	0
計	810,136	812,968	2,832	2,832

11 災害復旧費	補正			補正内訳
	補正前の額	補正後の額	補正額	人勧影響額
3 職員手当等	814	817	3	3
計	814	817	3	3

総計	補正			補正内訳
	補正前の額	補正後の額	補正額	人勧影響額
2 給料	1,774,219	1,777,613	3,394	3,394
3 職員手当等	1,333,690	1,343,643	9,953	9,953
4 共済費	618,913	620,670	1,757	1,757
7 臨時雇賃金	283,156	283,156	0	0
19 職員福祉費	3,065	3,065	0	0
計	4,013,043	4,028,147	15,104	15,104